

教科（科目）	社会（歴史的分野）	学年（系）	2年
使用教科書	中学社会 歴史的分野（日本文教出版）		
副教材等	歴史資料集(明治図書) 歴史の学習(浜島書店) 新社会の研究(新学社)		

1 学習目標

- 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。
- ・我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
 - ・歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
 - ・歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

2 指導の重点

- ・小・中・高のつながりを意識し、小から高への橋渡しする役割を担っていることを自覚して指導する。
- ・時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどの「歴史的な見方・考え方」を働かせて、歴史について考察する力や説明する力を身に付けさせる。
- ・第一次世界大戦以前における、基礎的・基本的な歴史的知識を確実に身に付けさせる。

3 指導計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	備考
4	第1編 歴史のとらえ方 第2編 古代までの日本 1 人類の始まりと文明 2 日本の原始時代	P6～29	・人類の誕生 ・世界の古代文明 ・東アジアに広がる中国の文明 ・宗教のおこり ・日本人のルーツと縄文時代 ・稲作の広まりと弥生時代	8	
5	3 日本の古代国家の形成 4 古代国家の展開	P30～45	・ヤマト王権と渡来人 ・東アジアの統一国家 ・律令国家をめざして ・奈良の都と律令制下の暮らし ・国際色豊かな文化	18	
6		P46～57	・京都の都と摂関政治 ・武士の登場 ・文化の日本化		中間考査
7	第3編 中世の日本 1 鎌倉幕府の成立 2 元の襲来と鎌倉幕府のおとろえ	P58～73	・院と平氏の政治 ・武家政治の始まり ・鎌倉時代の人々の暮らし ・元の襲来と鎌倉幕府	8	
8					
9	3 室町幕府と下克上 4 中世の文化	P74～93	・南北朝の内乱と室町幕府 ・東アジアとの交流 ・産業の発展と都市と村 ・立ち上がる民衆と戦国大名 ・鎌倉、室町の文化	8	期末考査
10	第4編 近世の日本 1 中世から近世へ	P94～113	・キリスト教の世界とイスラム教の世界 ・つながれてゆく世界 ・ヨーロッパ人の来航と信長 ・天下統一と近世社会の基礎づくり	8	

			<ul style="list-style-type: none"> ・秀吉の海外政策 ・安土桃山時代の文化 		
11	2 江戸幕府の成立と東アジア 3 百姓・町人と産業の発達	P114～131	<ul style="list-style-type: none"> ・全国支配のしくみ ・朱印船貿易から鎖国へ ・隣接地域との関係 ・江戸時代の百姓と町人 ・産業の発達と都市 	9	中間考査
12	4 幕府政治の改革と農村の変化 5 江戸時代の文化と学問	P132～145	<ul style="list-style-type: none"> ・幕府政治の改革 ・農村の変化と民衆の動き ・江戸時代の文化 ・江戸時代の学問 	9	
1	第5編 近代の日本と世界 1 欧米の発展とアジアの植民地化 2 近世から近代へ	P146～165	<ul style="list-style-type: none"> ・議会を中心とする民主政治の誕生 ・欧米の産業革命 ・アメリカの独立と民主主義の広がり ・ヨーロッパ諸国の侵略と抵抗するアジア ・ゆらぐ幕府の支配 ・開国 ・江戸幕府の滅亡 	9	
2	3 近代国家へのあゆみ 4 自由民権運動と国会開設	P166～187	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい政治の方針 ・近代化の政策 ・欧米文化の導入 ・領土の確定と周辺地域 ・新政府への不満 ・自由民権運動と政党 ・天皇主権の憲法 ・帝国議会と条約改正 	9	
3	5 日清・日露の戦争と東アジアの動き 6 近代日本の社会と文化	P188～201	<ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮をめぐる日本と清の対立 ・東アジアでの日本とロシアの対立 ・日本の朝鮮支配と中国の近代化 ・資本主義の発展と社会問題 ・近代文化の形成と学校教育 	9	期末考査

計95時間(48分授業)

4 課題・提出物等

課題 ①週末課題 ②長期休業課題 ③定期テスト前課題 ④自主課題
提出物 ①ワークノート ②自主学习ノート

5 評価方法

	知識・技能	思考・表現・判断	主体的に取り組む態度	評価基準
評価の観点	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	評定> 各観点の合計点 達成率 5…80%以上 4…70%以上 3…50%以上 2…40%以上 1…40%未満
評価方法	以上の観点をもとに、 ・授業の取り組み(授業態度や学習活動への参加状況)・課題への取組状況 ・小テスト ・定期テストなどから総合的に評価します。			
A 十分満足できる…70%以上 B おおむね満足できる40%以上 C 努力を要する…40%未満				

6 担当者からの一言

歴史上の人物やできごとが、なぜ現れ、起こったのか、それらが何とどのように関連し、またどういう結果をもたらしたのかを、日本と世界の歴史のなかで読み解いていきましょう。そして、過去の歴史が、今日の私たちの時代にどのようにつながっているのかを考えていきましょう。